

位置・規模

建築物	住宅・商業・業務系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に応じて、市民に親しまれている山、丘陵などを眺望する視線を遮らないよう配慮する。 ・分棟、雁行配置あるいは敷地境界線からのセットバックを行うなど違和感、圧迫感のある景観とならないよう配慮する。 ・建物の高さや壁面の位置がそろっている所では、連続性の維持に配慮する。
	工業・農業等生産・流通系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に応じて、市民に親しまれている山、丘陵などを眺望する視線を遮らないよう配慮する。 ・周囲の景観に違和感を与えない位置、規模となるよう配慮する。
指定工作物		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に応じて、市民に親しまれている山、丘陵などを眺望する視線を遮らないよう配慮する。 ・周囲の景観に違和感を与えない位置、規模となるよう配慮する。



山の稜線に配慮した高さに押えています。

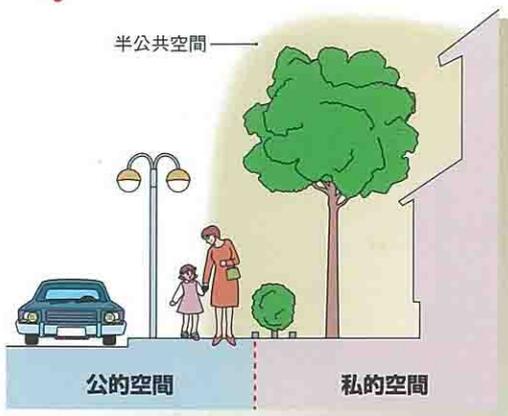


雁行配置を行うことにより、圧迫感を軽減させています。



建築物の高さや壁面を周辺にそろえ、通りに連続性をもたせています。

！ 半公共空間の修景について



うるおいとやすらぎのある市街地の景観を創っていくために、大規模建築物等の私的空間と道路などの公的空間との境界は、半公共空間（私的空間であるが、景観形成上、公的な性格をもつ領域）であるにとらえ、高木の植栽による修景緑化などを中心とした、景観形成をお願いしています。